

身近なことをきっかけに学習しよう

教科・場面

国語

授業・実践のねらい

- ・生徒が興味、関心を持つ学習内容の提示。
- ・生徒や教員間の共有事項を学習内容に含める。
- ・季節の歌を感じながら、歌詞の漢字に注目し、読み仮名の学習を行う。

対象の児童・生徒

高等部 グループ

- ・漢字を書いたり、読んだりする力がある
- ・言葉のやり取りを行うことができる

教材・教具

- ・休日の出来事シート
- ・今月の歌（歌詞）

工夫したところ

生徒の身近な題材を学習面に取り入れ、楽しみながら活動できるように心がけた。

授業展開・教材の使い方・実践の内容

- ①生徒が休日の出来事シートの項目に沿って書く。
- ②休日の出来事シートを5分間以内を目標に書く。
- ③休日の出来事シートを確認しながら、発表の準備をする。
- ④発表者は友人に向けて発表する。発表者以外の生徒は質問を考えながら、発表を聞く。
- ⑤発表者以外の生徒は質問する。発表者は質問に対して返答する。

※今月の歌の学習について

- ①月初めの学習時に今月の歌を発表し、歌詞プリントを配付する。
- ②初めて聞く際は、漢字の読み仮名に注目しながら、歌を聞き取る。
- ③再度、歌を聞きながら、歌詞プリントの漢字の読み仮名を確認する。

授業・実践を通じた児童生徒の変容

- ・生徒が毎回の授業を楽しみにしてくれていた。
- ・質問や返答する流れを経験し、その他の学習内容でも、質問や返答を行う流れが定着した。
- ・今月の歌の学習を取り入れることで、歌詞の漢字に注目し、少しずつであるが漢字を読むことができるようになった。また、漢字を読むことに慣れつつある様子であった。